

## 米軍キャンプ・ハンセンレンジ4の移設遅延及び基地機能強化に対する意見書

平成20年1月8日、防衛省沖縄防衛局からレンジ4複合射撃訓練施設の移転について、大幅に遅れるとの説明があった。

同施設は、住民地域に隣接しており、今日まで伊芸区民は幾多の被害を被ってきた日くつきのところである。平成17年6月28日以来、本町議会は演習の中止と施設の撤去を求め強く抗議を繰り返してきた経緯がある。特に伊芸区民の500日余にわたる反対闘争は、町民・県民の怒りを結集し、県民集会を開催し幅広い支持が得られたのは周知のとおりである。にも拘らず、政府及び米軍は町民の置かれている状況と度重なる抗議を全く無視し、軍事演習を昼夜分かたず実施している同施設から派生する住民の不安・恐怖は従来と何等変わらず悪化の一途を辿っている。さらにレンジ3における射撃訓練場建設は、そのことを如実に示している。

米軍及び政府の一方的な都合によって、現状が引き延ばされるのは不作為に因るものである。こうした一連の行為は、金武町民を愚弄した人権感覚の欠落した顕著な差別行為と断ぜざるを得ない。平成17年9月に合意したのは、町民に対する約束ではないのか。沖縄防衛局は真摯に対応し、責任を果たしたとは言えない。町民が求めるのは、住民地域に隣接したレンジ4一帯の複合射撃訓練場の撤去であることは言うまでもない。陸軍が他の施設に移動することによって、海兵隊が居残り引き続き使用する意味ではない。

また、日米の当事者の不作為による移転の遅延は、町民に更なる忍従と苦痛を強要するものであり、断じて許せない。

よって金武町議会は、レンジ4の移設遅延とレンジ3の射撃場建設に対し強く抗議するとともに、これ以上の米軍基地機能強化と負担増を認めない立場から下記事項が速やかに実現されるよう、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

### 記

1. レンジ4における暫定使用を即時中止し、解体撤去すること。
1. キャンプ・ハンセン内レンジ3における米軍射撃場建設を即時中止すること。

平成20年1月18日  
沖縄県金武町議会

宛先  
内閣総理大臣

## 米軍キャンプ・ハンセンレンジ4の移設遅延及び基地機能強化に対する抗議決議

平成20年1月8日、防衛省沖縄防衛局からレンジ4複合射撃訓練施設の移転について、大幅に遅れるとの説明があった。

同施設は、住民地域に隣接しており、今日まで伊芸区民は幾多の被害を被ってきた日くつきのところである。平成17年6月28日以来、本町議会は演習の中止と施設の撤去を求め強く抗議を繰り返してきた経緯がある。特に伊芸区民の500日余にわたる反対闘争は、町民・県民の怒りを結集し、県民集会を開催し幅広い支持が得られたのは周知のとおりである。にも拘らず、政府及び米軍は町民の置かれている状況と度重なる抗議を全く無視し、軍事演習を昼夜分かたず実施している同施設から派生する住民の不安・恐怖は従来と何等変わらず悪化の一途を辿っている。さらにレンジ3における射撃訓練場建設は、そのことを如実に示している。

米軍及び政府の一方的な都合によって、現状が引き延ばされるのは不作為に因るものである。こうした一連の行為は、金武町民を愚弄した人権感覚の欠落した顕著な差別行為と断ぜざるを得ない。平成17年9月に合意したのは、町民に対する約束ではないのか。沖縄防衛局は真摯に対応し、責任を果たしたとは言えない。町民が求めるのは、住民地域に隣接したレンジ4一帯の複合射撃訓練場の撤去であることは言うまでもない。陸軍が他の施設に移動することによって、海兵隊が居残り引き続き使用する意味ではない。

また、日米の当事者の不作為による移転の遅延は、町民に更なる忍従と苦痛を強要するものであり、断じて許せない。

よって金武町議会は、レンジ4の移設遅延とレンジ3の射撃場建設に対し強く抗議するとともに、これ以上の米軍基地機能強化と負担増を認めない立場から下記事項が速やかに実現されるよう、強く要求する。

### 記

1. レンジ4における暫定使用を即時中止し、解体撤去すること。
1. キャンプ・ハンセン内レンジ3における米軍射撃場建設を即時中止すること。

平成20年1月18日  
沖縄県金武町議会

宛先

防衛大臣      沖縄防衛局長  
外務大臣

## 米軍キャンプ・ハンセンレンジ4の移設遅延及び基地機能強化に対する要請決議

平成20年1月8日、防衛省沖縄防衛局からレンジ4複合射撃訓練施設の移転について、大幅に遅れるとの説明があった。

同施設は、住民地域に隣接しており、今日まで伊芸区民は幾多の被害を被ってきた曰くつきのところである。平成17年6月28日以来、本町議会は演習の中止と施設の撤去を求め強く抗議を繰り返してきた経緯がある。特に伊芸区民の500日余にわたる反対闘争は、町民・県民の怒りを結集し、県民集会を開催し幅広い支持が得られたのは周知のとおりである。にも拘らず、政府及び米軍は町民の置かれている状況と度重なる抗議を全く無視し、軍事演習を昼夜分かたず実施している同施設から派生する住民の不安・恐怖は従来と何等変わらず悪化の一途を辿っている。さらにレンジ3における射撃訓練場建設は、そのことを如実に示している。

米軍及び政府の一方的な都合によって、現状が引き延ばされるのは不作為に因るものである。こうした一連の行為は、金武町民を愚弄した人権感覚の欠落した顕著な差別行為と断ぜざるを得ない。平成17年9月に合意したのは、町民に対する約束ではないのか。沖縄防衛局は真摯に対応し、責任を果たしたとは言えない。町民が求めるのは、住民地域に隣接したレンジ4一帯の複合射撃訓練場の撤去であることは言うまでもない。陸軍が他の施設に移動することによって、海兵隊が居残り引き続き使用する意味ではない。

また、日米の当事者の不作為による移転の遅延は、町民に更なる忍従と苦痛を強要するものであり、断じて許せない。

よって金武町議会は、これ以上の米軍基地機能強化と負担増を認めない立場から下記事項が速やかに実現されるよう、強く要請します。

### 記

1. レンジ4における暫定使用を即時中止し、解体撤去すること。
1. キャンプ・ハンセン内レンジ3における米軍射撃場建設を即時中止すること。

平成20年1月18日  
沖縄県金武町議会

宛 先

衆議院議長

参議院議長

沖縄県知事

沖縄県議会議長